

Rotary Club Weekly Report



46期 クラブテーマ

「ロータリーを感・動しよう」

ロータリー活動に参加することにより、
ロータリーを感じ、行動し、感動する

写真：苗木城跡

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

～本日のプログラム～

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 開会点鐘 | 6. 出席報告、スマイルボックス発表 |
| 2. 国歌・Rソング斉唱 | 7. 委員会、幹事報告 |
| 3. ゲスト・ビジターの紹介 | 8. 卓話の時間(会長・副会長・幹事退任挨拶) |
| 4. 会長の時間 | 9. 閉会点鐘 |
| 5. 食事と交歓 | 10. 次年度へゴング引継ぎ式 |

～出席報告～

6月15日(月)
会員総数 55名
免除者 3名
39/52 75.00%

Coming Soon ～今後の例会プログラム～

- 6月29日(月) 特別休会
7月6日(月) 就任挨拶(会長、副会長、幹事、SAA) 総会(決算・予算)
7月13日(月) 通常例会(常任委員長就任挨拶) 中津川RC会長、幹事訪問
7月20日(月) 吉村俊博ガバナー補佐訪問例会 例会後：クラブアッセンブリー(役員、各委員長)
7月27日(月) 通常例会(浅井達雄SAA) 例会前：定例理事会
※7月～9月の例会場はパルティールA1となります。

12:00～12:45まで昼食、12:45点鐘

Club&Local Events ～クラブ・地区の行事～

- 6月29日(月) 今期 臨時理事会開催 18:00～ 勝宗
引続き、クラブアッセンブリー開催 18:30～
(出席要請者：今期役員、各委員長)

～7月例会設営当番～

(執行部・SAA)
鷹見幸久君 柘植信成君
佐古和也君 浅井達雄君
古川和博君
7/6～7/27まで



皆さんこんにちは。

いよいよ最後の例会となりました。後と少しお付き合いをお願いいたします。

前回、「日本経済には、まだ十分に成長余力がある。」からの続きです。

『シン・ニホン』の著者である安宅和人(あたくあかず)氏によると、日本は若い世代への投資、未来の成長力に使うお金が削られ続けていると述べています。日本の伸びしろを高める為に必要なのが未来につながるお金の使い方です。

現状、研究機関や大学にけるお金は、主要国の中で貧弱すぎるのです。「東大・京大の学生辺り予算はアメリカ主要大学の3～5分の1です。科学技術予算を見ると、この歴史的な技術革新期に2004年以降、韓国は倍、ドイツは1.4倍にしている中で、日本は増やせるところかむしろ減少」と驚くべき事実があります。国のリソースの張り方はあまりにも過去に向いているのです。

「国を家族に例えるならば、稼ぎ手の稼ぎよりも多くのお金を借金までして、おじいさん、おばあさんに使っているといってもよい状況だ。我々の未来の世代に対して、そして新しい未来を生むための研究開発費用に十分に投資しなければ、惨めで不幸な未来が待っていること間違いない。できれば10兆円、たとえあと5兆円でもいいから未来に向けて振り向けることができたなら、どれほど大きなことができるだろう。」と日本の可能性に言及しています。

ここまでは、日本がまだ本気で手を付けていない部分に対して、力と資産を振り分ける余地が十分にあることについてみてきました。ここからは、現状の国力についてみていきます。〈日本経済はヤバイ〉〈大借金大国、日本〉そんな見出しや、タイトルをよく目にします。事実ベースで言えば、日本経済、アメリカ、中国にGDPで後れをとり、1300兆円の負債を抱える大借金国です。それを受けて、危機を煽られれば、私たちは当然怯えます。結論を急げば、「日本ヤバイ論」は間違っています。国の国力を見ていくときに、ドルのストックがどの程度蓄積されており、基幹産業が吹っ飛んだとしても何年経常黒字がいつまで続くかを試算することで、国の力を測ることができます。フィスコ世界経済・金融・シナリオ会議の2018年時点の試算によると、日本は年間7兆4000億円程度のドルが増加しており、官民で約261兆1000億円(外貨準備以外は60%をドルと試算)のドルを保有しています。

2018年の経常黒字は19兆1000億円であり、仮に自動車産業が壊滅したとしても、単純計算では経常赤字に転落しません。産業の分散が進んでいるとともに、強固な外貨ストックが存在しており、日本は簡単には経常赤字にならない強さを持っています。一方、お隣の韓国では官民で26兆7000億円のドルを保有しており、経常黒字は8兆4000億円であり、基幹産業である機械・半導体が壊滅すれば、20兆円近い経常赤字に転落することになります。

日本は、今のくらいの力を持っているのでしょうか。現在の日本の借金は日本銀行「2019年第4四半期の資金循環」のデータによると、政府の負債合計は約1300兆円です。一方で政府の「資産」は政府資金(約620兆円)+外貨準備高(約140兆円)=約760兆円になります。この約760兆円に対する、負債1300兆円の割合を考えると、借金の額はそれほど大きくないことがわかるのではないのでしょうか。

国の財政も資産と負債の2軸で考える視点が必要です。世界における椅子の奪い合いではなく、日本は独自の椅子を作っていけばいい。そのために、日本の潜在能力をいかに伸ばしていくかを共に考える必要があります。日本経済はまだ成長する可能性大です。

以上で本年度、最後の会長の時間とさせていただきます。 どうもありがとうございました。

～6月15日(月)例会報告～ 卓話：「一年を振り返って」常任委員長挨拶



高峰山 梅雨に入る



ロータリーソング「我らの生業」



会長の時間：南裕之会長



出席報告：園原委員長



スマイル発表：小倉忠大君



卓話の時間



組織強化情報常任委員長 丹羽大祐君

- 広報委員の二村君は就任時の基本方針
写真を多く使って視覚的に訴える会報を毎週作成いただきました。さらには、青年会議所時代に作り上げた中津川カルタを紹介いただき、毎週工夫を凝らした会報を提供頂きました。
- 増強委員の丹羽さんにおいては、前期に9名の新会員が入会したので、今期はIDMなどを通じて新会員にロータリーでの経験や、学び、ルールなどを説明して頂きました。残念ながら新会員の入会は有りませんでした。入会年数の短いメンバーの不安払拭に活躍頂きました。

• 組織強化・クラブ研修リーダー

古川パスト会長には今期より新設されたクラブ研修リーダーを担って頂き、入会数年目までの会員にロータリアンとは何かセンターロータリークラブのルール等、IDMを通じて講義頂きました。説明内容もご自身の言葉で分かり易く説明頂き、講義後にはそれぞれのメンバーの意見、感想を確認するなど、充実した中身の研修を進めて頂きました。来期も引き続き宜しくお願いします。



奉仕プロジェクト常任委員長 荒井幹広君

今年を振り返ってみると、あまりお役に立てなかった一年だったと感じています。所感を述べるにも振り返って考えなくてはいけない状況で、大変メンバーの皆様には申し訳なく思っております。

45周年記念事業におきまして廣瀬敏明氏の講演会並びに記念植樹の設営を承り、無事に終えることが出来たことが唯一役目を果たせたことだったのではないかと考えています。皆様のご協力に感謝申し上げます。

ところで、新型コロナウイルスはメンバーのご商売の景気のみならず、今の生活様式など様々なところに大きなインパクトを与えています。今までの当たり前（常識）が非常識へ変わる。いずれなるべき状態へ変化をするもの、していたものがその変化のスピードを一気に加速し、その姿を現してきています。当然ロータリークラブ活動にも影響が出てきております。当クラブも変化に対応できる組織、硬直化することなく時代に即した形で世の中に求められていく組織になっていかなければならないと考えます。また、取り組み事業についても変化を求められている気がいたします。そんな中自分自身が組織の中でどうゆう貢献ができるかは分かりませんが、クラブが世の中に役に立つ団体となるべく事業展開に参画する意義というのをあらためて考えさせられた一年でした。



支援プログラム常任委員長 村上幸博君

まずもって南会長、45周年の記念式典無事終了おめでとうございます。

コロナ禍の中津川センターロータリークラブでどうなるか心配されましたが却ってすんなり完了しました。新荘からの訪日も中止になりよって私の出番もなく……。でも、植樹、パルティールでの式典には参加しました。まだまだコロナ禍は続いていますので一層の注意を払って生活してゆきましょう。



管理運営常任委員長 堀 正勝君

今年度の管理常任委員会は、プログラム委員会、親睦活動委員会、出席委員会の3委員会で構成されました。

プログラム委員会では、丸山委員長のもと前例にとられない例会の開催と、会員サービスの為に適時ロータリー月間にちなんだ卓話の推進を行っていただきました。

今年度クラブテーマである「ロータリーを感じ、行動し、感動する」例会プログラムと、45周年の事業に向けたプログラム運営ができたと思います。

親睦委員会では、成木委員長のもと納涼例会、新年家族例会の開催を行っていただきました。納涼例会では、今までにないバスツアーという形式をとらせていただきました。今は亡き志村けんさんの志村魂を観劇させていただき、多くのメンバーとご家族の方々が参加されました。ただ花見例会と四クラブゴルフコンペの開催がコロナウイルスの発生に伴い中止となったことは非常に残念ですが、基本方針にあるメンバーの親睦を深め楽しい事業の企画運営ができたと思います。

出席委員会では、園原委員長のもと個別の例会、IDM等の出席率の管理を行い、基本方針にある出席率の向上が図れたと思います。

今年度は、45周年事業があり当常任委員会は祝賀会の担当でした。オープニングには東濃歌舞伎中津川保存会の皆様にご披露頂き、和やかな雰囲気で行われました。コロナ感染拡大前に、45周年事業の開催ができたことは非常に良かったと思います。

～スマイルボックス～

- ・今期も残すところ今日を含めて2回となりました。45周年記念事業、式典、新型コロナウイルスにおける長期休暇など色々なことがありましたが最後まで宜しくお願い致します。本日の卓話は「一年を振り返り」をテーマでの常任委員長退任挨拶です。常任委員長の皆さん宜しくお願い致します。
会長 南裕之君 副幹事 立木亮治君 幹事 小木曾輝栄君
小倉忠大君 岡庭勢史君 鈴木欣也君
- ・誕生日を祝っていただき有難うございます。
幸脇利幸君 小倉忠大君
- ・妻の誕生日を祝ってもらい有難うございます。
鈴木欣也君
- ・結婚記念日を祝ってもらい有難うございます。

本日の申告 18P 累計 771P

～第5回 I DM報告～ 6月15日(月) 勝宗 18:30

担当：役員、理事、SAA、特別委員会・R情報委員会

「新型コロナウイルスの影響による近況報告」

- ・出席メンバーそれぞれの会社の対策と現在の状況を報告した。
- ・現在さほど影響のない会社も今後は懸念、リモート、ウェブ面接、営業、会議等、新しい変革のメリットデメリットを模索。一人2～3分のスピーチ後、和やかに親睦を深める。



担当責任者：SAA勝野正彦君



研修リーダー古川和博君



〈出席者〉

浅井達雄君 荒井幹広君 安藤 茂君 板頭鈔三君 小木曾輝栄君 勝野正彦君 佐古和也君 鈴木欣也君
鷹見幸久君 立木亮治君 成木崇久君 成瀬正之君 西尾元男君 二村国彦君 古川和博君 丸山充信君
南 裕之君 棚橋一夫君 加藤英和君 吉川幸輝君 岡庭勢史君

～報告事項～

- ・辻ガバナーの動画 URL 第4弾を下記 URL よりご覧ください。 <https://youtu.be/mQ7CGnuJprA>
- ・クラブ解散のお知らせ
各務原中央ロータリークラブが令和2年6月30日をもちまして解散をいたします。
(平成元年3月3日創立より31年活動)
- ・今年は「2020年ロータリーバーチャル国際大会」が6月20日～26日に開催されます。
「My Rotary」よりお入りいただき、サインアップの上、ご参加いただきます様、ご案内申し上げます。

～中津川市郷土かるた～

資料：(社)中津川青年会議所



ひとつばたご (蛭川)

モクセイ科の植物で、5～6月に純白の細かい花を梢いっぱい咲かせ、満開の時には雪化粧をしたかのような風情ある姿を見せます。樹高は15～20m。胸高直径は50～60cmにもなります。蛭川では自生木の多くを天然記念物(昭和48年5月28日制定)として、大切に保護しています。別名「なんじゃもんじゃ」といい、多くの市民に親しまれている樹木です。